

手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」用の トレーニングシミュレーションシステムを第108回日本泌尿器科学会総会で展示

株式会社メディカロイド（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：浅野薫 以下「メディカロイド」）と Mimic Technologies, Inc.（本社：米国ワシントン州シアトル市、CEO 及び代表取締役会長：Jeff Berkley 以下「Mimic」）は、手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」（以下「hinotori™」）用のトレーニングシミュレーションシステムを共同開発しており、20種類のコアスキルエクササイズを搭載した同システムを、第108回日本泌尿器科学会総会（2020年12月22日～24日）にて展示します。

外科医は高度な手術スキルを習得するために様々なトレーニングを実施しますが、シミュレーションによるトレーニングはロボット支援下手術に必要なスキルを習得するために必須のものとなっております。当社のトレーニングシミュレーションシステムは hinotori™ の操作ユニットであるサージョンコックピット※¹を研修者が操作し、3Dビューワ内のシミュレーション映像で実際のロボット支援下手術と同等の操作シミュレーションを可能にするものです。これにより、外科医が安全かつ効率的にロボット支援下手術を行うためのスキル習得をサポートし、患者様の QOL の向上に貢献します。

Mimic は、2003 年以來、複数の医療用ロボットメーカーとともにトレーニングシミュレーションシステムを開発しており、外科手術トレーニング用シミュレータを開発する企業の中で最も高い実績を持っている企業の一つです。Mimic は最先端の 3D 画像生成テクノロジーを採用することで、シミュレーション映像のリアリズムを最大化しています。また、Mimic の業界標準ともいえるトレーニング結果のスコアリング機能によって研修者は自身のスキルレベルを定量的に理解することができ、効率よくロボット支援下手術のスキル習熟度を向上させることができます。

メディカロイドは 2020 年 12 月 22 日～24 日に神戸市で開催される第 108 回日本泌尿器科学会総会において、Mimic と共同開発中の 20 種類のコアスキルエクササイズおよびスコアリング機能を有したトレーニングシミュレーションシステム（販売名称：hi-Sim™）を展示します。

メディカロイドは今後も外科医の進化するニーズを満たすため、手術支援ロボットを安全にかつ有効に使用いただける環境の提供を目指します。

【メディカロイドの概要】

会社名： 株式会社メディカロイド
所在地： 神戸市中央区港島南町 1 丁目 6-5 国際医療開発センター6 階
設立： 2013 年 8 月 29 日
資本金： 7,960 百万円（2019 年 12 月 31 日現在）
事業内容： 医療用ロボットのマーケティング、開発、設計、製造、販売、アフターサービス

【Mimic の概要】

会社名： Mimic Technologies, Inc.
所在地： 811 First Ave, Suite 408, Seattle, WA 98104 USA
設立： 2001 年 2 月 21 日
事業内容： 医療用ロボットのシミュレータとトレーニングに関連するマーケティング、開発、設計、製造、販売、およびアフターサービス

【注釈】

※1 hinotori™の構成

サージョンコックピット：執刀医が 3D ビューアをのぞき込みながら、手や足の操作で 3D ビデオスコープやインストゥルメントを操作する装置

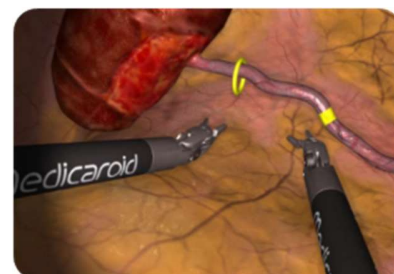
オペレーションユニット：サージョンコックピットの操作で実際の手術をおこなう装置



オペレーションユニット



サージョンコックピット



シミュレーションの一部画像

お問い合わせ先：
株式会社メディカロイド 経営企画部
Tel : 078-303-8770